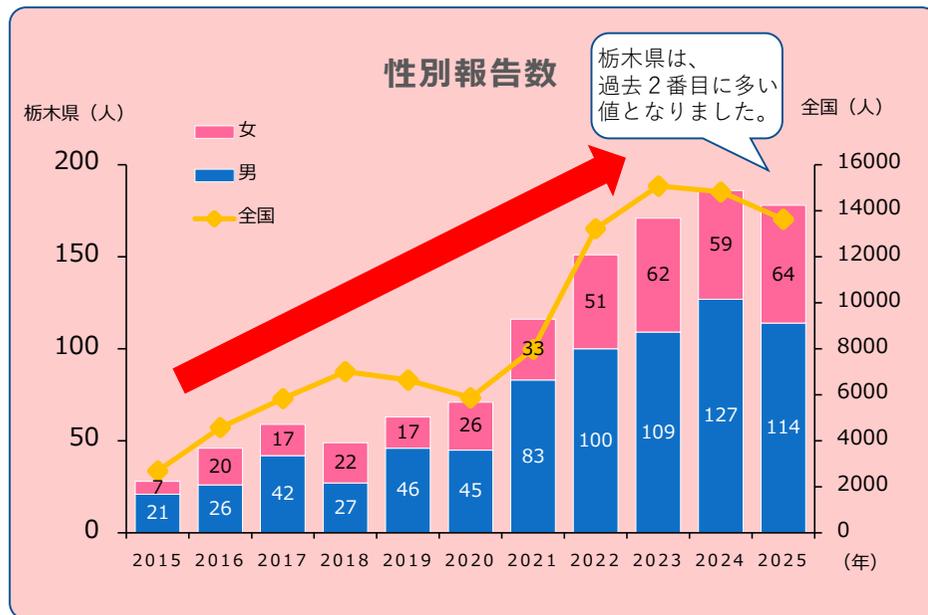


栃木県内 梅毒 発生状況

作成者：栃木県感染症情報センター

集計日：2026/3/4



・2025年の梅毒患者の報告数は、本県では178件と前年(186件)に比べて減少しましたが、過去2番目に多い値でした。全国でも減少傾向にありますが、過去3番目に多い値でした。

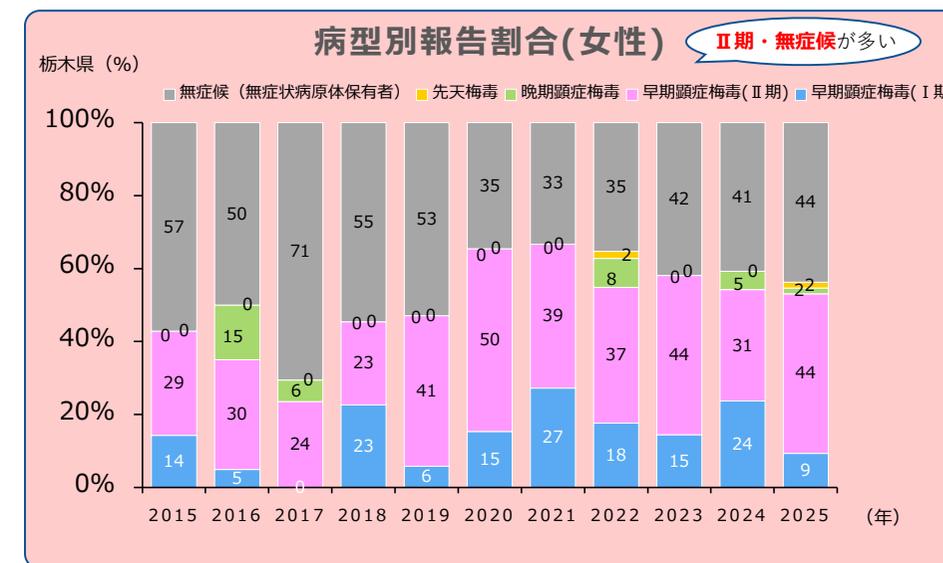
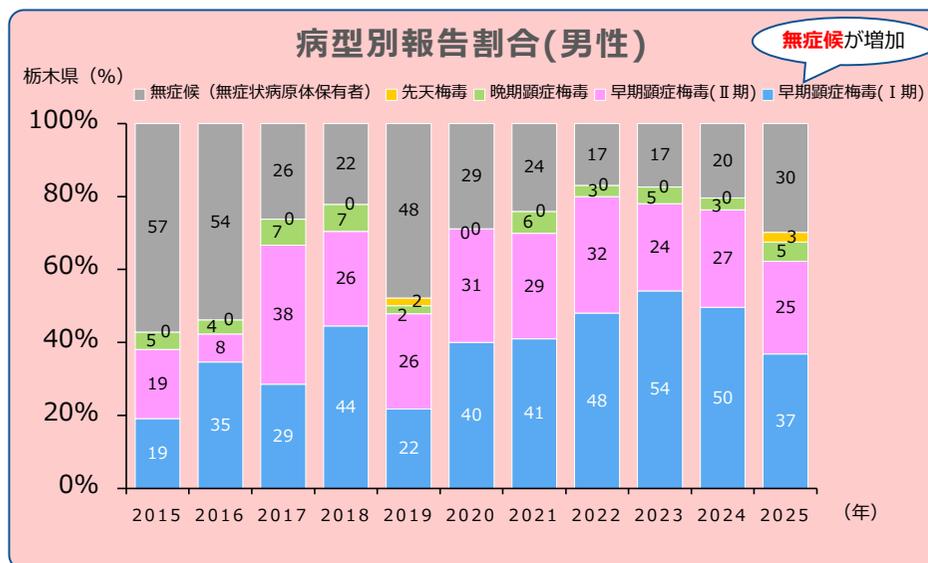
・病型別では、男性はI期が多い傾向にありますが、2025年は無症候の割合が増えました。女性はII期及び無症候の割合が多い状況です。また、**3年ぶりに先天梅毒(母子感染)の報告がありました(4件)**。

・年代別では、男性は幅広い年代で満遍なく多い状況であり、女性は20~40歳代の割合が多い状況です。

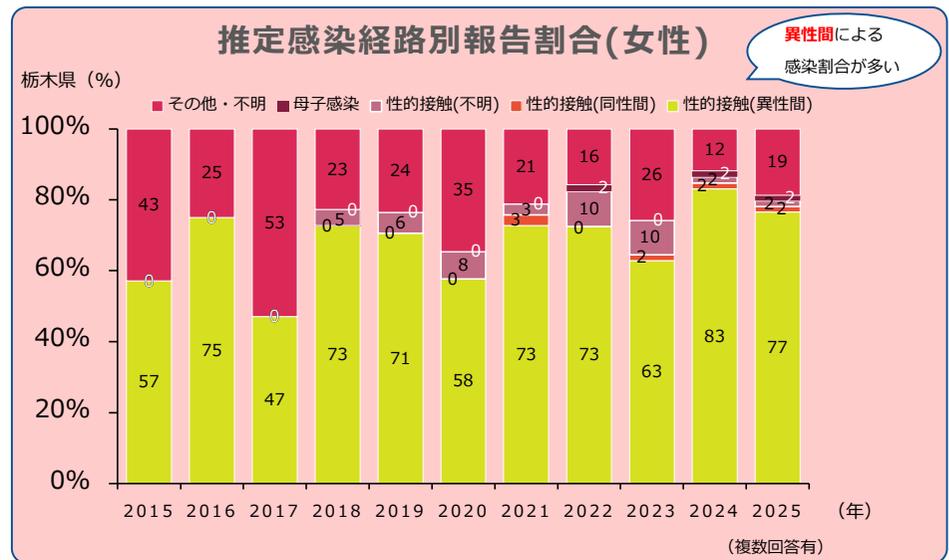
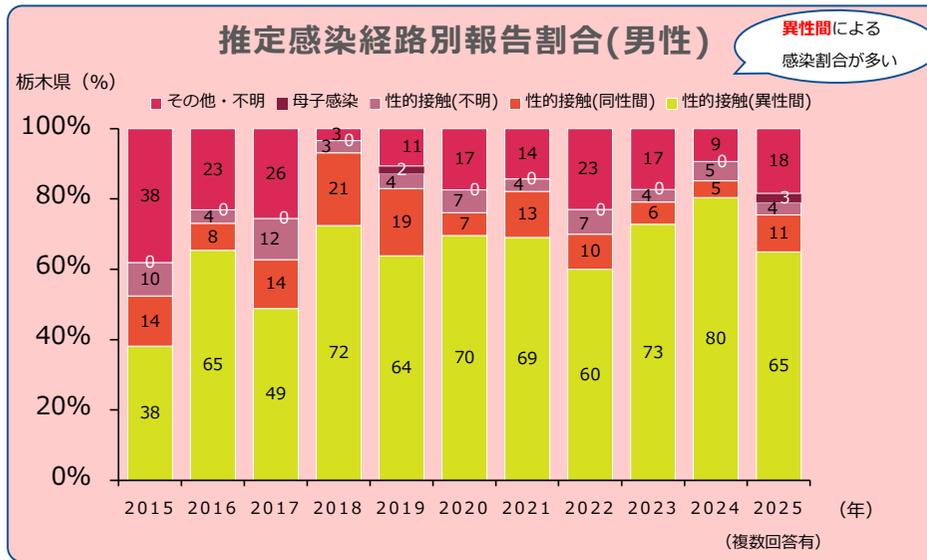
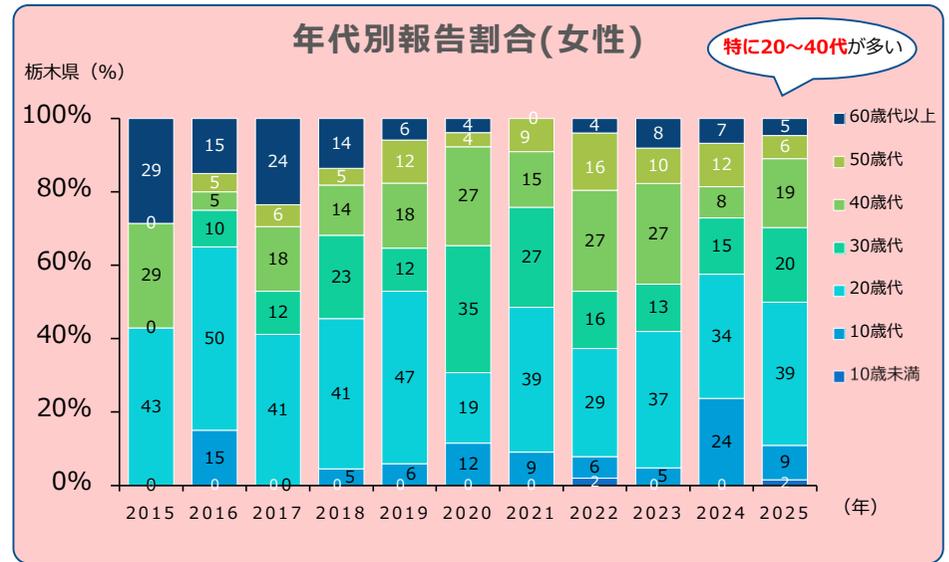
・推定感染経路は、男性、女性ともに異性間の性的接触の割合が多い状況です。

・推定感染地域は、栃木県内が最も多く、約半数を占めています。

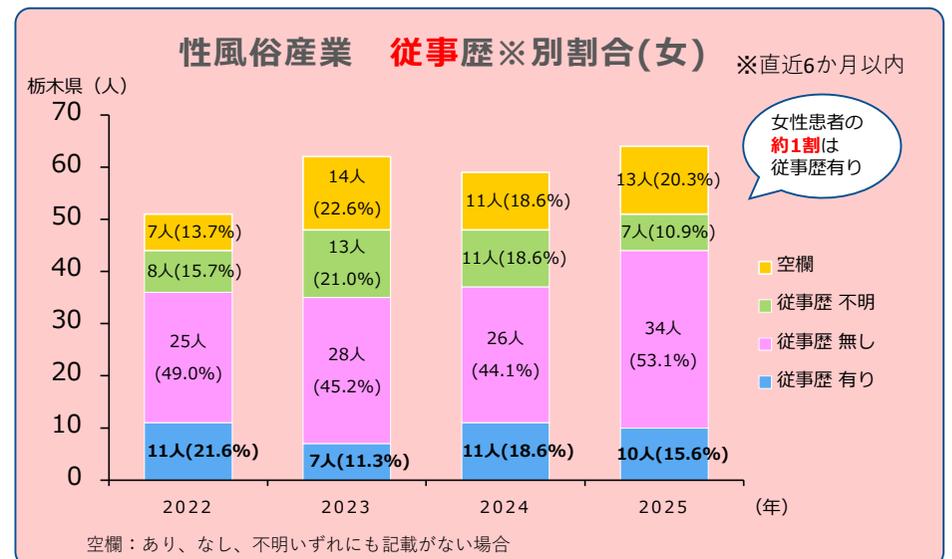
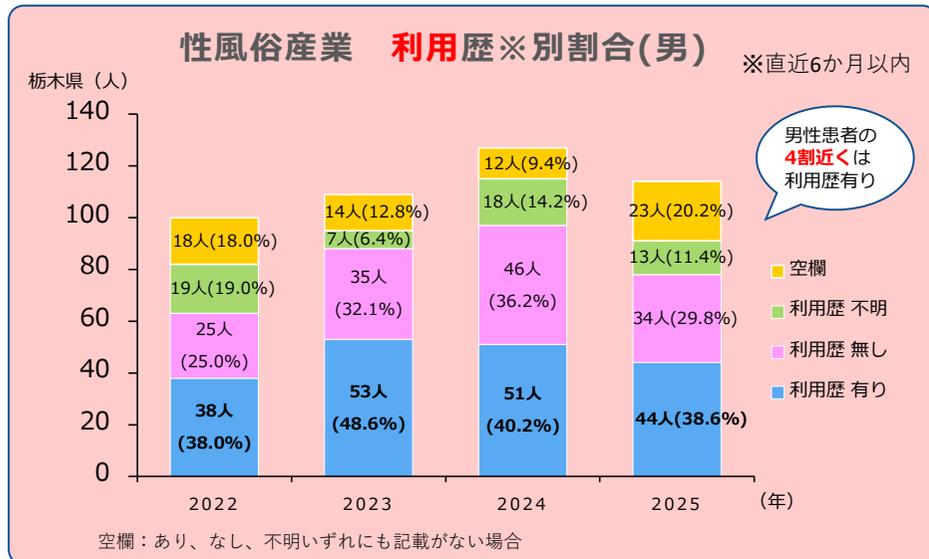
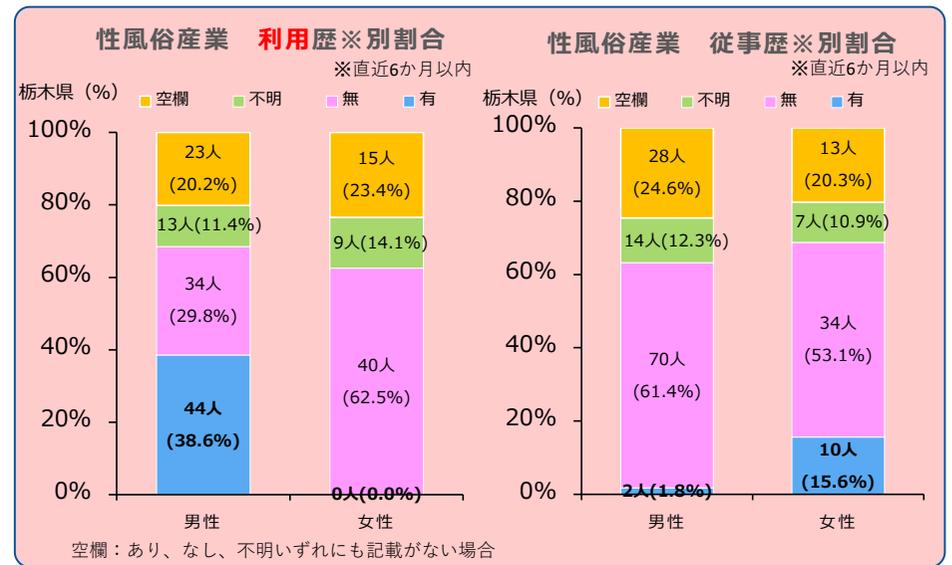
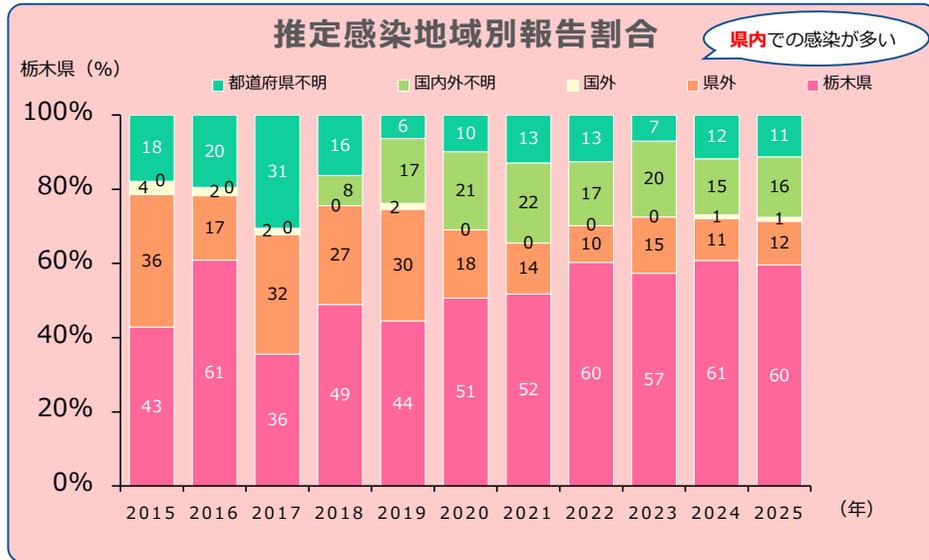
・2025年に報告のあった患者のうち、性風俗産業の利用歴(直近6か月以内)が有る患者は、男性で44人(38.6%)、女性で0人でした。性風俗産業の従事歴(直近6か月以内)が有る患者は、男性で2人(1.8%)、女性で10人(15.6%)でした。



栃木県内 梅毒 発生状況



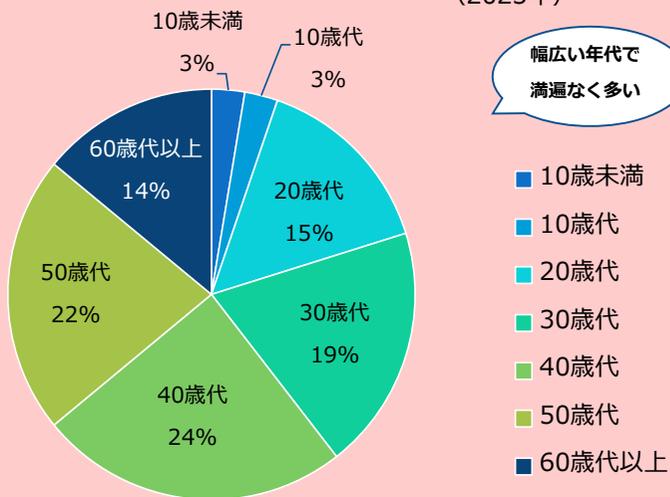
栃木県内 梅毒 発生状況



栃木県内 梅毒 発生状況

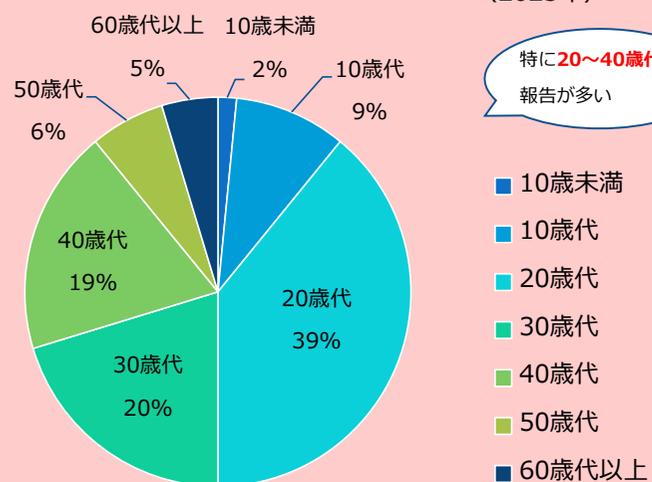
年代別報告割合(男性)

(2025年)



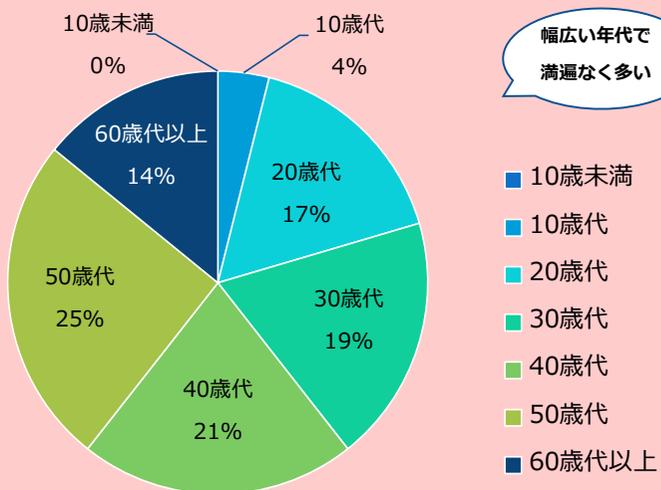
年代別報告割合(女性)

(2025年)



年代別報告割合(男性)

(2024年)



年代別報告割合(女性)

(2024年)

